

第3・4学年 国語科学習指導案

日 時 平成30年9月27日(木) 5校時
児 童 第3学年 男2名 女5名 計7名
第4学年 男3名 女2名 計5名
指導者 皆川 洸 士

〈第3学年〉

- 1 単元名 書き手のくふうを考えよう
- 2 学習材名 『ほけんだより』を読みくらべよう
(東京書籍3年上)
- 3 付けたい力と言語活動

〈付けたい力〉

◎二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読む。

C(1)イ

〈言語活動〉

【視点1】

◎二つの「ほけんだより」を読み比べて考えたことを、アドバイスカードにまとめ、感想を伝え合う活動を行う。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、3年「自然のかくし絵」の学習では、大事な言葉や文に着目し、段落ごとに書かれている内容を捉えることを学習している。その際には、「問い」「答え」「説明」など、それぞれの段落の内容を理解し、それに対する自分の感想を書き溜めていくことを行った。それにより、事実と意見を区別しながら文章を読み進め、段落相互の関連にも目を向けることができた。しかし、文章における事実と意見の記述の仕方の違いに気付く力は十分に身につけているとはいえない。

(2) 学習材について

本単元は「読むこと」の単元である。教材文は、「ほけんだより」という学校生活における配布物を題材に取り上げており、実生活での活用につなげやすい文章である。

二つの「ほけんだより」は、「見出し」「始め」「終わり(まとめ)」が同じ文章であるため、書き手が読み手に伝えたい事柄の共通点に気付きやすい。一つ目の文章は、「朝ごはんの必要性について」、二つ目の文章は、「保健室にきた人と朝ごはん摂取の関係」および「朝ごはんを食べなかった理由」をデータに基づいて記述している。目的と構成を同じくしながら、書き手の意図によってそれぞれ違う表現の工夫をしている文章を読み比べることで、取り上げられている事柄と説明の仕方の違いに焦点化して考えることができる。

また、いずれの「ほけんだより」にも図や表が用いられていることから、資料と文章との関係を考えることにも適している文章であるといえる。

(3) 指導に当たって

本単元で育てたい主となる能力は、目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読み取る能力である。

そこで、二つの「ほけんだより」を読み比べて考えたことを、アドバイスカードにまとめ、感想を伝え合うことを言語活動に据える。

一次では、戸田小学校の二つの「ほけんだより」を読み、どちらの「ほけんだより」が良いか、アドバイスカードに自分の考えまとめることで、書き手の工夫を

〈第4学年〉

- 1 単元名 身の回りの文章を読みくらべよう
- 2 学習材名 「広告と説明書を読みくらべよう」
(東京書籍4年上)
- 3 付けたい力と言語活動

〈付けたい力〉

◎広告と説明書の文章を読み比べ、それぞれの目的に合わせた表現の違いを読む。

C(1)イ

〈言語活動〉

【視点1】

◎広告と説明書の文章を読み比べ、身の回りにある文章の表現の工夫を表し方の工夫カードにまとめ、感想を伝え合う活動を行う。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、4年「ヤドカリとイソギンチャク」の学習では、段落相互の関係を考え説明のまとまりを見つけながら読む学習をしている。その際には、ヤドカリとイソギンチャクの関係について、説明のまとまりに着目しながら読み取った。それにより、説明のまとまり(意味段落)がどのように結びついているかを考えることができた。しかし、筆者がどのような事実を理由として取り上げ、どのような意見を述べようとしているか捉える力は十分に身につけているとはいえない。

(2) 学習材について

本単元は、「読むこと」の単元である。教材文は、「広告と説明書」という実際に日常生活で目にするようなテキストを取り上げており、実生活での活用につなげやすい文章である。

広告には、キャッチコピーや大きな写真など、読み手の興味をひきつけたり、商品の魅力を伝えるための工夫が凝らされたりしている。しかし、その一方で、書かれている情報は説明書に比べると少なく偏りがある。それに対して、説明書は、写真や配色等の読み手をひきつける工夫は少ないが、使用する際に必要な情報がポイントを押さえて書かれており、読み手が必要な情報を取り出しやすくなっている。また、書かれている事柄の順序やレイアウトなども、読み手のことを考えた配置になっている。

広告と説明書というそれぞれの目的が明確な二つの文章を読み比べることで、目的に応じた表現の違いを捉えさせることに適した文章であるといえる。

(3) 指導に当たって

本単元で育てたい主となる能力は、目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読み取る能力である。

そこで、広告と説明書の文章を読み比べ、身の回りにある文章の表現の工夫を表し方の工夫カードにまとめ、感想を伝え合うことを言語活動に据える。

一次では、教師が提示した学習発表会のポスターを読み、身の回りの文章の表し方の工夫について表現の工夫カードにまとめることで、目的に合わせた表し方

む力をつけるという学習のねらいをつかませる。

二次では、教材文の二つの「ほけんだより」をもとに考えたことを、アドバイスカードとしてまとめる活動を行う。そのために、二つの「ほけんだより」について、説明文の家を使い、構成を捉えて要点をつかむ活動を行う。これにより、二つの「ほけんだより」の共通点や相違点が明らかになる。次に、教科書の「てびき」をもとに、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取る。これらの学習をもとに、二つの文章のどちらを「ほけんだより」にするか考え、選んだ理由をカードに書く。

三次では、戸田小学校の二つの「ほけんだより」について、どちらの「ほけんだより」がよいか、アドバイスカードに自分の考えまとめる活動を行う。友達と感想を伝え合い、交流することで学習の成果を振り返らせ、学習に満足感をもたせたい。

5 単元の目標

- 二つの文章を読み比べ、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけながら読もうとする。

【関心・意欲・態度】

- ◎二つの文章を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取ることができる。

【読C(1)イ】

- 修飾と被修飾との関係など文の構成を理解することができる。

【伝国(1)イ(キ)】

の違いを読む力をつけるという学習のねらいをつかませる。

二次では、教材文の広告と説明書の文章を読み比べて、表し方の工夫について考えたことを、表し方の工夫カードにまとめる活動を行う。そのために、広告と説明書について、説明文の家に合わせて構成を捉え、内容を整理する。次に、広告と説明書を読み比べて、書かれている事柄や、表し方の工夫を読み取る。これらの学習をもとに、広告と説明書の目的と、表し方の違いについて、カードに書きまとめる。

三次では、教師が提示した学習発表会のポスターについて、表現の工夫カードにまとめる活動を行う。感想を交流することで、学習の成果を振り返らせ、学習に満足感をもたせたい。

5 単元の目標

- 二つの文章を読み比べ、目的に合わせた表し方の違いを見つけながら読もうとする。

【関心・意欲・態度】

- ◎身の回りにある二つの文章を読み比べ、それぞれの目的に合わせた表し方の違いを読み取ることができる。

【読C(1)イ】

- 修飾と被修飾との関係など文の構成を理解することができる。

【伝国(1)イ(キ)】

6 単元の評価規準

	3 年	4 年
国語への 関心・意欲・態度	○進んで二つの「ほけんだより」を読み比べ、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけながら読もうとしている。	○進んで二つの文章を読み比べ、目的に合わせた、表し方の違いを見つけながら読もうとしている。
読む能力	◎二つの文章を読み比べて内容を捉え、筆者が意見を伝えるための事実や説明の工夫を読み取っている。 (イ)	◎二つの文章を読み比べて内容を捉え、表現の仕方や工夫などの、目的に合わせた表し方の違いについて読み取っている。 (イ)
言語についての 知識・理解・技能	○語句の役割や語句相互の関係に注意して、文の構成について理解している。 (イ)キ	○目的に合わせた表し方の違いがある文章において、語句の役割や文の組み立てについて理解している。 (イ)キ

7 単元の指導計画

3 学年 (全 8 時間)	時	次	時	4 学年 (全 8 時間)
主な学習活動				主な学習活動
○戸田小学校の二つの「ほけんだより」を読み、学習のねらいを理解し、見通しをもつ。 ○「ほけんだより」を読み比べるときに気を付けることを確かめる。	1	一	1	○身の回りにある様々な形式の文章を提示し、学習のねらいを理解し、見通しをもつ。 ○広告と説明書が、それぞれどのようなものなのか理解する。
○教材文の「ほけんだより」について、説明文の家を使い、要点をまとめながら構成を捉える。 【視点 2】	2	二	2	○広告と説明書について、説明文の家を使い、内容を整理しながら構成を捉える。【視点 2】
○教材文の「ほけんだより」の同じところと違うところを考え、表し方の工夫を読み取る。	3		3	○教材文の広告と説明書を読み比べて、違いを確かめ、表し方の工夫を読み取る。
○二つの「ほけんだより」のどちらがよいか考え、理由をアドバイスカードに書く。	4 本時	三	4 本時	○広告と説明書の工夫を、表し方の工夫カードに書きまとめる。
○戸田小の二つの「ほけんだより」について、説明文の家を使い、要点をまとめながら構成を捉える。	5		5	○二つの学習発表会のポスターについて、説明文の家を使い、内容を整理しながら構成を捉える。
○戸田小の二つの「ほけんだより」について、これまでの学習を基に表し方の工夫を考える。	6	三	6	○二つの学習発表会のポスターについて、これまでの学習を基に表し方の工夫を考える。
○戸田小の二つの「ほけんだより」のどちらがよいか考え、理由をアドバイスカードに書く。	7		7	○二つの学習発表会のポスターの工夫を、表し方の工夫カードに書きまとめる。
○書いたものを読み合い、感想を交流する。 ○これまでの学習を振り返る。	8		8	○書いたものを読み合い、感想を交流する。 ○これまでの学習を振り返る。

8 本時の指導

(1) 目標

二つの「ほけんだより」のどちらがよいか考え、理由をアドバイスカードに書くことができる。

(2) 展開

8 本時の指導

(1) 目標

広告と説明書の工夫を、表し方の工夫カードに書きまとめることができる。

段階	3年生		形態	4年生		段階
	指導上の留意点 ○支援 ◎評価	学習活動と学習内容		学習活動と学習内容	指導上の留意点 ○支援 ◎評価	
導入 7分	<p>○前時までの学習を振り返らせた後、本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>○学習材を音読させた後、直接指導に入る。</p>	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>二つの「ほけんだより」のどちらがよいか考え、理由をアドバイスカードに書こう。</p> </div> <p>3 学習材を音読する。 ・二つの「ほけんだより」のよさを考えながら微音読する。</p> <p>4 学習の進め方を確かめる。</p>		<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>広告と説明書の工夫を、表し方の工夫カードに書きまとめよう。</p> </div> <p>3 学習の進め方を確かめる。</p> <p>4 学習材を音読する。 ・広告と説明書の表し方の工夫の中から、よいところはどこか考えながら微音読する。</p>	<p>○前時までの学習を振り返らせた後、本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>○学習の進め方の確認をし、間接指導に入る。</p>	導入 7分
展開 28分	<p>○自分がよいと感じた理由について書かせたあと、グループで交流させる。</p> <p>○話し合いの視点としては、「なぜよいと感じたのか。」「友だちと同じところ、違うところはどこか。」という2点にしばらせる。</p> <p>○話し合いで出た意見をもとに、板書で整理する。</p> <p>○書き方の型を示し、それをもとに自分の考えと理由を書かせる。</p> <p>◎二つの文章のどちらを「ほけんだより」にするか考え、書かれている事柄や説明の仕方と関連付けて理由を書いている。(ノート、発言)</p> <p>○書き終わった児童は、グループで交流させる。</p> <p>○学級全体で、学習の成果を共有させる。</p>	<p>5 学習課題を解決する。</p> <p>(1) よいと思った「ほけんだより」を決め、その理由を書く。</p> <p>(2) グループで選んだ理由を話し合い、それぞれのよさを明確にする。</p> <p style="text-align: center;">【視点3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ目の文章では、朝ごはんは、エネルギーのもとになることがわかる。 ・二つ目の文章では、朝ごはんを食べないとどうなるかということや、食べるための方法がわかる。 ・一つ目の文章は、イラストがわかりやすいのがよい。 ・二つ目の文章は、人数を調べて表にしているのがよい。 <p>(3) 書き手の伝えたいことを伝えるためには、どちらの「ほけんだより」にするか決め、アドバイスカードに書く。</p> <p>一つ目の文章を選んだ方がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べると一日のエネルギーになることがわかるから、私もしっかり食べたいと思ったから。 ・絵と矢印で表していることで、朝ごはんを食べるとどんな良いことがあるのかがよくわかるから。 <p>二つ目の文章を選んだ方がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べないと元気がなくなってしまうことがわかり、朝ごはんの大切さに気付いたから。 ・調べたことが数字で表されているので、みんなに知らせたいと思ったから。 		<p>5 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 広告と説明書の表し方の工夫の中から、よいと感じたところに付箋を貼り、どんなところが良いのか書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告の写真からは、商品や家族の様子がわかるのがよい。 ・広告は、見出しなどに商品の特徴がわかりやすく書いてあるのがよい。 ・説明書は、使い方が詳しく書いてあるのがよい。 ・説明書は、使うときの注意や困ったときにどうすれば良いか書いてあるのがよい。 <p>(2) よさを交流しながら、目的に合わせて表し方に違いがあることの理解を深める。</p> <p style="text-align: center;">【視点3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告は、多くの人のために写真や特徴をわかりやすく書いてある。 ・説明書は、使う人のために使い方や困ったときにどうすればよいかなどが順番に書いてある。 ・説明書は、使う人の安全を第一に考えているから、使用上の注意が初めに書いてある。 <p>(3) 表し方の工夫カードに、書きまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告は、多くの人に読んでもらい、商品を買ってもらう目的がある。そのために、見出しやキャッチコピー、写真などを工夫している。 ・説明書は、使う人に正しく安全に商品を使ってもらう目的がある。そのために、色や 	<p>○教科書に付箋を貼るようにさせる。貼り終えた児童には、どんなところが良いかを書かせる。</p> <p>○次の話し合いに入る際の時間の目安を示しておき、グループで話し合いが進められるようにしておく。</p> <p>○話し合いの視点としては、「誰に伝えるための文章か。」「読んだ人にどうしてほしいのか。」という2点にしばらせる。</p> <p>◎広告と説明書の目的と、表し方の工夫や違いと関連付けて理由を書きまとめている。(ノート、発言)</p> <p>○学級全体で、学習の成果を共有させる。</p>	展開 28分

				箇条書きなどの工夫している。		
終末 10分	○学習を通して分かったことや、次の学習に生かしたいことなどを書かせる。	6 本時の振り返りをする。 ・学習感想を、ふりかえりカードに書く。 7 次時の学習内容を確認する。		6 本時の振り返りをする。 ・学習感想を、ふりかえりカードに書く。 7 次時の学習内容を確認する。	○学習を通して気付いたことや、次の学習に生かしたいことなどを書かせる。	終末 10分

(3) 評価

B 二つの文章のどちらの「ほけんだより」がよいか考え、書かれている事柄や説明の仕方のよさを入れて理由を書いている。

支援 : 書き手の伝えたいことが伝わる方を選ばせる。また、そう思った理由や説明の仕方のよいところを板書をもとに考えるよう助言する。

B 広告と説明書の目的と、そのための表し方の工夫や違いを入れて理由を書いている。

支援 : 広告と説明書では、誰に対して書いてあるのかを確かめさせる。また、その説明の仕方のよいところを板書をもとに考えるよう助言する。

(4) 板書計画

